



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《 学校教育目標 》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和5年度学校通信

第3号

令和5年7月12日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

体育会「燃やせ！ 輝け！ 牛中魂」



例年より早く梅雨入りしたため、気をもみましたが、体育会当日の6月3日（土）は梅雨の晴れ間に恵まれました。しかし、前日までの大雨でグラウンドコンディションが不良であったため、開始時刻を遅らせて開催しました。急な変更にもかかわらず、多数のご観覧をいただきましたことに感謝感激です。

5月8日（月）に新型コロナウイルス感染症の扱いが変わったことを受け、今年の体育会は種目数を増やし、全校を3つのブロックに分けた縦割りで実施した他、観客数の制限も撤廃しました。修学旅行あけから本格的に始動したものの、連日の雨で屋外での練習不足は否めませんでした。そこは、実行委員の献身的な働きぶりで挽回し、なんとか本番を迎えることができました。

ることができました。

持ち玉を使い果たした玉入れ。60秒間を2回ともノーミスで跳び切った連続8の字跳び。ご観覧の皆様も一緒に楽しめた借り物競走。2年連続ビデオ判定にもつれ込んだ牛中タイフーンなど。そして、最大の見せ場は、なんとと言っても鮮やかな友禅染の法被（徳永こいのぼり）を身にまとったソーラン節。ちなみに、閉会式で手渡した優勝旗は、本年度新調したものです。

練習段階から実行委員の働きぶりがめざましく、次年度以降も異学年交流（縦割り）を伝統としていきたいと考えています。交流過程で、先輩には後輩の役に立ったという自己有用感、後輩には先輩のようになりたいというリスペクトの心が育って欲しいと願っています。

備東総体、吹奏楽祭

6月17日（土）、18日（日）、7月2日（日）に備前東地区中学校夏季総合体育大会（以下、備東総体）、6月17日（土）に岡山県中学校吹奏楽祭（以下、吹奏楽祭）が開催されました。保護者の皆様には、送迎等でお世話になりました。本年度は部活動を地域クラブに広げる地域移行の初年度にあたり、中学校総合体育大会にも地域クラブの参加が認められました。また、本校野球部とサッカー部はいずれも単独ではチーム編成ができず、邑久中学校と合同チームを編成して出場しました。

部活動や地域クラブへの加入は生徒の自己決定によるものであり、しかも備東総体や吹奏楽祭は真剣勝負の場なので、普段とは違う生き生きとした表情や集中した表情が見られました。備東総体や吹奏楽祭を通して、生徒にとって自己決定がいかに大切なことであるかを再認識させられました。

どの競技も熱戦を繰り広げた結果、次の団体及び個人が7月下旬の岡山県中学校夏季総合体育大会（以下、県総体）への切符を手にすることができました。おめでとうございます。

【団体】サッカー部（準優勝）

【個人】1A 床来海さん（剣道女子個人戦3位）

1A 山本裕惺さん（陸上競技1年男子1500m）

その他、2A 夕川純一朗さん（相撲）も県総体、吹奏楽部が岡山県吹奏楽コンクール予選大会に出場します。



1年生 牛窓歴史ロマン & ヨット体験

1年生は6月12日(月)に、ふるさと未来創造学習の一環として、瀬戸内市教育委員会総務学務課参事 片岡学氏をお招きし、「すごい歴史の町 牛窓」と題してご講演いただきました。片岡氏が生徒の学習歴と関連付けてご講演してくださったので分かりやすく、1年生はいつしか歴史の魅力に引き込まれていきました。

日常の景色の中に古墳が潜んでいること(オリーブ園周辺に50基以上)に、1年生は興奮気味でした。また、寒風焼の経験のある生徒(牛窓北小卒)にとって、須恵器と縄文土器・弥生土器の違いは興味深いものでした。また、小6の修学旅行で訪れた金閣寺を建立した足利義満が、牛窓に立ち寄っていたこと。その他にも、中1で訪れた大阪城築城残石群と徳川の関係、黒島と国内最大の大仙古墳(仁徳天皇陵)の関係、あいあい保育園付近の墓と戦国武将(真田、伊達)の関係など。

特に興味津々だったのが、日明貿易(朝貢)のくだりでした。臣下を誓う日本は、牛窓港などから積み出した刀剣などを、貢ぎ物として差し出しました。明はその返礼品として4倍の値のものを渡しましたが、それでも戦をするより安価であったこと。日本にとって返礼品は、国内では10倍の値で売れたこと。つまり、両国にとってWinWinの関係であったことを知りました。朝貢については、後日、社会科の授業でも学びました。

歴史のロマンに引き込まれた1年生にとって、2時間はあっという間でした。講演後には、金印スタンプ(福岡市博物館直売のレプリカ)の押された片岡氏の直筆サインを求めて、行列ができていました。一度の講演では紹介しきれないほど、たくさんの資料を準備してくださった片岡氏に感謝するとともに、今後も本校教育に関わっていただく予定です。



また、1年生は5月10日(水)のカリヨンハウス(ウォークラリー、いかだ体験)に続き、7月7日(金)には牛窓ヨットハーバー(ヨット体験)に出かけてきました。スタッフから操舵方法を教わり、沈起こし(転覆した船を起こす動作)を実演してもらった後、3人1組で出艇しました。直後は、不安定で悲鳴のような歓声が上がっていました。校舎から眺めるヨットはのどかですが、操るとなると帆の下を身をかがめて何度も移動しなければならず、ハードなものでした。

以上、カリヨンハウス及びヨットハーバーでの研修を通じて、牛窓の文化観光資源を楽しみながら、牛窓の魅力を再発見することができました。

2年生 職場訪問

2年生は11月14日(火)~17日(金)の職場体験学習に先立ち、6月26日(月)に町内10事業所を訪問し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを取材しました。銀行や教育委員会など、普段立ち入ることのない事業所で取材することには、緊張感と高揚感がありました。その感動が冷めぬうちに、取材で得た情報をタブレットでプレゼンテーションにまとめ、報告会で共有しました。

以上、本校では、地域社会とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定した課題解決型学習 PBL「歴史に学び、今を知り、未来を創る ふるさと未来創造学習 Homing」を推進しています。これは、中3の地域創生案の発表をゴールとする政策提案型のプロジェクトです。日本のどこかで、世界のどこかで牛窓の地域振興とつながる生徒の育成を目指しています。兵庫大学教授 古田薫氏からアドバイスをいただきながら、組織化・体系化を図っていく予定です。

メールによる欠席連絡

今春から電話対応時間を、市内中学校統一で7:45~18:30とさせていただきます。時間外におかけになった場合は、留守番電話に切り替わります。しかし、前夜から欠席が確定している場合や通勤時間帯で電話をかけにくい場合など、ご不便をおかけしています。2学期からは、時間外に限りメールによる欠席連絡サービスを開始します。右のQRコード、もしくは学校が送信したURLのサイトを登録してご利用ください。ただし、欠席メールはあくまで補完的なものであり、欠席連絡は声を聞いて行うことが基本であることに変わりありません。時間外に欠席メールを送信されても、学校が電話をかけ直す場合がございますので、ご了承ください。

QRコード

7月の論語

ひとにして遠き慮り無ければ、必ず近き憂い有り。

人は、先々のことまでよくよく考えて行動しなければいけません。もし、先々のことを何も考えずに行動すれば、きっと身の回りで、近いうちに困ったことが出てくるものです。(クマ先生とよむ論語)